



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ  
コード番号 3032 URL <http://www.golfdco.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二

TEL 048- 851- 3111

四半期報告書提出予定日 2021年11月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,849	19.4	152	78.3	152	81.5	108	54.2
2021年3月期第2四半期	2,385	3.4	85	296.0	83	220.6	70	562.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 113百万円 (72.4%) 2021年3月期第2四半期 65百万円 (753.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	43.44	43.32
2021年3月期第2四半期	28.91	28.73

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	2,943	636	21.5	252.02
2021年3月期	3,088	518	16.2	204.26

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 631百万円 2021年3月期 498百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	2.5	235	1.2	230	0.7	160	15.1	63.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	2,605,642 株	2021年3月期	2,540,642 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	99,200 株	2021年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	2,505,732 株	2021年3月期2Q	2,441,442 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	10
3. 補足情報 .....	11
売上高前年対比等 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、夏場に新型コロナウイルスの感染拡大がピークを迎えたものの、ワクチン接種などの効果によって9月30日に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除となり、今後の経済回復に向けた動きへの期待が高まるとともに、感染第6波への備えとの両立が求められております。

海外においては、わが国以上にワクチン接種が進んでいる国において新型コロナウイルスに関連する規制の解除が進み、経済回復に向けた動きが活発化しておりますが、エネルギー資源や食品などの原材料価格が高止まりしており、経済回復の重石となることが懸念されております。

リユース市場においては、Eコマースや個人間売買がけん引するとともに、新規参入の増加などにより市場の拡大傾向が続いております。また、一部の新品ショップで自社ブランドなどの中古品を扱うケースが増えつつあり、今まで以上に新品ショップと中古ショップにおける取り扱い品のボーダーレス化が進んできております。

ゴルフ用品市場においては、実店舗とEコマースの垣根を超えた市場競争は続いているものの、ゴルフ人気を背景とした需要は底堅く推移しております。なお、株式会社矢野経済研究所「YPSゴルフデータ」によりますと、2021年7月～9月の新品クラブ及びボールなど用品類の販売は、7月は需要動向が好調で、8月は緊急事態宣言やテレビなどでのオリンピック観戦が影響し盛り上がりを欠き、9月は新製品の初動が好調であったようです。また、原材料不足による供給不足が続き、その影響は徐々に大きくなっているようです。なお、新品の供給不足を受け、当社においては短期的には新品から中古品への代替え需要があるものと想定しております。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2021年7月～9月（9月は速報値）の利用者数前年同月比は、ゴルフ場が7月115.5%、8月89.2%、9月105.3%、練習場が7月100.7%、8月102.5%、9月109.0%となりました。8月のゴルフ場は緊急事態宣言やテレビなどでのオリンピック観戦の影響があったと推測されます。なお、ゴルフ練習場は15ヶ月連続で前年同月を上回っております。

このような経営環境のなか、当社においては、2021年5月に公表した「中期経営計画 Challenge 2026」の目標達成に向け取り組みを進めておりますが、4月にリニューアルしたECサイト「ゴルフ・ドゥ!オンラインショップ」の業績が伸び悩んでおり、一刻も早く成長軌道に乗せるべく継続的に機能、利便性の向上に向けて努めております。また、店舗のオープンが無いこともあり、業績面では「ゴルフ・ドゥ!」既存店舗への依存度が高まっており、「ゴルフ・ドゥ!」既存店舗以外で安定的な収益を確保することが喫緊の課題となっております。

直営事業においては、7月及び8月は緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の適用に加え、オリンピック開催下での営業となりました。「ゴルフ・ドゥ!」店舗の業績は例年と比較すると決して悪くはありませんが、前年同月が盛り上がり始めた3密回避レジャー人気に支えられ正に絶好調であったことに加え、テレビなどでのオリンピック観戦によるご来店数の減少もあり、既存店売上高は前年同月実績に届きませんでした。9月は緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の終了が見えてきたこともあるためか、秋のトップシーズンに伴うクラブ需要の勢いが増しており、業績にも弾みがつきました。なお、当第2四半期連結累計期間の直営店の売上高前年増減率は、全店ベースで29.5%増、既存店ベースで10.6%増となりました。

フランチャイズ事業においては、7月及び8月の「ゴルフ・ドゥ!」店舗に関する動向は直営店とほぼ同様であり、ゴルフ人気の追い風は感じつつも、テレビなどでのオリンピック観戦や天候不順の影響により苦戦傾向となりました。9月は新品クラブが好調で在庫が不足気味の中古クラブを補っております。なお、当第2四半期連結累計期間のフランチャイズ店の売上高前年増減率は、全店ベースで3.3%減、既存店ベースで11.2%増となりました。

当第2四半期連結累計期間における「ゴルフ・ドゥ!」のオープンは、直営店、フランチャイズ店ともに無く、2021年9月30日現在の「ゴルフ・ドゥ!」は、直営25店舗、フランチャイズ49店舗で合計74店舗、当第2四半期連結累計期間の売上高前年増減率は、全店ベース8.8%増、既存店ベース11.0%増となりました。

営業販売事業においては、米国輸入品の欠品や納期遅れは依然続いており、卸売業は比較的入荷状況が良い用品類を中心に行っております。国内ECモールに出店している「GOLF J-WINGS」は、輸入品の優先投入を行っており、業績は好調に推移しております。

アパレル事業においては、第1四半期の各月に続き7月の営業利益は黒字となりました。また、8月及び9月はご来店数の減少に加え盛夏物の動きが鈍く苦戦を強いられましたが、業績は前年同月から改善しており、当第2四半期連結累計期間は黒字を維持いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高28億49百万円（前年同四半期比19.4%増）、営業利益1億52百万円（同78.3%増）、経常利益1億52百万円（同81.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億8百万円（同54.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当第2四半期連結累計期間における直営事業の売上高は20億45百万円（前年同四半期売上高は16億17百万円）となりました。また、セグメント利益は2億13百万円（前年同四半期セグメント利益は1億32百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第2四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は2億30百万円（前年同四半期売上高は2億21百万円）となりました。また、セグメント利益は74百万円（前年同四半期セグメント利益は78百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第2四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は5億89百万円（前年同四半期売上高は5億63百万円）となりました。また、セグメント利益は20百万円（前年同四半期セグメント利益は12百万円）となりました。

（アパレル事業）

当第2四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は22百万円（前年同四半期売上高は19百万円）となりました。また、セグメント利益は0百万円（前年同四半期セグメント損失は3百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億45百万円の減少となり、29億43百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億84百万円の減少となり、21億72百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億62百万円、売掛金が29百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円の増加となり、7億69百万円となりました。これは主に無形固定資産（ソフトウェア）が75百万円増加、有形固定資産が13百万円、繰延税金資産が9百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億64百万円の減少となり、23億6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億86百万円の減少となり、15億87百万円となりました。これは主に買掛金が65百万円、未払法人税等が49百万円、その他（未払消費税等）が32百万円、賞与引当金が18百万円、1年内返済予定の長期借入金が17百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ77百万円の減少となり、7億18百万円となりました。これは主に長期借入金72百万円、社債が10百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億18百万円の増加となり、6億36百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億8百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は21.5%（前連結会計年度末は16.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日付で公表いたしました内容に変更はありません。なお、業績予想は今後の新型コロナウイルス感染症が当社へ与える影響など、現時点で想定しうる要素を可能な限り考慮しておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	895,242	732,934
売掛金	377,700	347,716
商品	1,016,869	1,026,300
短期貸付金	9,372	9,466
その他	58,764	57,191
貸倒引当金	△1,252	△1,252
流動資産合計	2,356,697	2,172,356
固定資産		
有形固定資産	255,953	242,549
無形固定資産	126,562	198,209
投資その他の資産		
投資有価証券	13,913	17,152
長期貸付金	318,421	313,667
敷金及び保証金	172,707	172,720
建設協力金	40,671	34,544
繰延税金資産	37,886	27,890
その他	18,425	16,756
貸倒引当金	△253,698	△253,698
投資その他の資産合計	348,326	329,032
固定資産合計	730,842	769,790
繰延資産		
社債発行費	1,064	858
繰延資産合計	1,064	858
資産合計	3,088,603	2,943,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	387,708	322,550
短期借入金	805,500	800,803
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	179,571	162,322
未払法人税等	96,063	46,970
賞与引当金	49,533	30,887
ポイント引当金	39,000	33,576
株主優待引当金	8,414	9,555
その他	188,475	161,182
流動負債合計	1,774,267	1,587,848
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	488,295	415,351
退職給付に係る負債	143,281	145,099
資産除去債務	82,065	82,481
その他	42,492	45,434
固定負債合計	796,134	718,366
負債合計	2,570,401	2,306,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	506,120	515,838
資本剰余金	159,523	169,240
利益剰余金	△103,688	5,155
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	463,747	592,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,338	1,899
為替換算調整勘定	36,276	37,751
その他の包括利益累計額合計	34,938	39,651
新株予約権	19,516	5,111
純資産合計	518,201	636,790
負債純資産合計	3,088,603	2,943,005

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,385,759	2,849,146
売上原価	1,476,731	1,745,565
売上総利益	909,028	1,103,580
販売費及び一般管理費	823,640	951,326
営業利益	85,388	152,254
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,636	1,433
受取手数料	2,493	2,475
為替差益	21	555
助成金収入	1,672	1,682
その他	547	1,386
営業外収益合計	6,370	7,533
営業外費用		
支払利息	7,673	7,063
その他	290	633
営業外費用合計	7,963	7,696
経常利益	83,795	152,090
特別利益		
債務免除益	—	4,391
特別利益合計	—	4,391
税金等調整前四半期純利益	83,795	156,482
法人税、住民税及び事業税	20,614	37,619
法人税等調整額	△7,389	10,018
法人税等合計	13,224	47,637
四半期純利益	70,570	108,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,570	108,844

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	70,570	108,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	3,238
為替換算調整勘定	△4,845	1,474
その他の包括利益合計	△4,685	4,713
四半期包括利益	65,884	113,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,884	113,557
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	83,795	156,482
減価償却費	26,295	36,949
のれん償却額	800	3,483
長期前払費用償却額	1,626	865
株式報酬費用	4,842	5,110
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,031	△18,682
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,330	△5,424
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△4,476	1,140
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,958	1,818
受取利息及び受取配当金	△1,636	△1,433
支払利息	7,673	7,063
債務免除益	—	△4,391
売上債権の増減額 (△は増加)	73,693	30,765
棚卸資産の増減額 (△は増加)	196,105	△9,047
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,897	△65,472
未払金の増減額 (△は減少)	6,707	△9,822
未払費用の増減額 (△は減少)	2,394	△686
未払消費税等の増減額 (△は減少)	33,552	△32,363
その他	6,683	28,155
小計	406,478	124,507
利息及び配当金の受取額	1,636	1,433
利息の支払額	△8,080	△6,780
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△9,072	△95,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	390,960	23,586
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,969	△7,227
無形固定資産の取得による支出	△9,462	△89,557
貸付金の回収による収入	4,392	4,659
敷金及び保証金の回収による収入	4,181	211
敷金及び保証金の差入による支出	△263	△214
建設協力金の回収による収入	5,883	6,004
事業譲渡による収入	8,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,762	△86,124
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,029	△274
長期借入れによる収入	340,000	—
長期借入金の返済による支出	△99,944	△90,193
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
その他	—	66
財務活動によるキャッシュ・フロー	234,085	△100,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△987	630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	629,821	△162,308
現金及び現金同等物の期首残高	360,345	895,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	990,167	732,934

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより以下のとおり変更しております。

売上時に付与したポイントについては、従来は付与したポイントの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、ポイント引当金繰入額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、付与したポイントは顧客に対する履行義務と認識し、契約負債を計上し、顧客がポイントを値引として使用したときに売上高に振り替えております。

なお、当社では買取時及び入会時等にもポイントを付与している為、売上時以外に付与したポイントに関しては、従来通りのポイント引当金として計上しております。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が26,141千円減少し、販売費及び一般管理費は27,202千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,061千円増加しております。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。この変更による連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の拡大による影響及び会計上の見積りについて）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計			
売上高								
外部顧客への 売上高	1,617,439	215,664	533,100	19,555	2,385,759	—	—	2,385,759
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	5,409	30,747	—	36,157	2,732	△38,889	—
計	1,617,439	221,074	563,848	19,555	2,421,917	2,732	△38,889	2,385,759
セグメント利益 又は損失(△)	132,208	78,070	12,675	△3,857	219,097	112	△133,822	85,388

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計 上額(注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,045,350	225,355	555,762	22,677	2,849,146	—	2,849,146
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	5,314	34,127	—	39,441	△39,441	—
計	2,045,350	230,670	589,889	22,677	2,888,587	△39,441	2,849,146
セグメント利益	213,174	74,713	20,621	921	309,431	△157,177	152,254

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

売上前年対比等

当第2四半期連結累計期間における「ゴルフ・ドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2021年7月	2021年8月	2021年9月	第2四半期合計 (7月～9月)	第2四半期累計 (4月～9月)
ゴルフ・ドゥ！全店	92.7%	93.7%	107.2%	97.5%	108.8%
ゴルフ・ドゥ！既存店	93.6%	94.5%	108.4%	98.5%	111.0%
同 直営店 全店	110.0%	112.6%	119.8%	114.0%	129.5%
同 直営店 既存店	94.3%	97.6%	102.1%	97.8%	110.6%
同 FC店 全店	82.4%	82.5%	99.3%	87.6%	96.7%
同 FC店 既存店	93.2%	92.5%	113.1%	98.9%	111.2%

当第2四半期連結累計期間における「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2021年7月	2021年8月	2021年9月	第2四半期合計 (7月～9月)	第2四半期累計 (4月～9月)
売上高前年対比	63.3%	62.0%	77.3%	67.3%	75.5%
アクセス数前年対比	79.8%	87.5%	93.5%	86.9%	93.6%
会員数（合計）					35万人
会員数前年増加率					7.3%

(注) 会員数は「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフ・ドゥ！」店舗の会員数とは異なります。